【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【公開番号】特開2012-32945(P2012-32945A)
【公開日】平成24年2月16日(2012.2.16)
【年通号数】公開・登録公報2012-007
【出願番号】特願2010-170860(P2010-170860)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2013.01)
Ｇ０６Ｆ　3/033　(2013.01)
Ｇ０６Ｆ　3/041　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５１Ａ
Ｇ０６Ｆ　3/033　３１０Ｙ
Ｇ０６Ｆ　3/041　３３０Ｐ
Ｇ０６Ｆ　3/041　３３０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成25年7月29日(2013.7.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表示面に表示されている複数のオブジェクトから、ユーザ操作により指示されたオブジェクトを選択する選択手段と、
前記操作を行う物体と前記表示面との間の距離に基づく操作距離を取得する距離取得手段と、
前記選択手段によって選択されたオブジェクトが属するグループのうち、前記距離取得手段によって取得された操作距離に対応付けられたグループレベルを特定し、当該グループレベルのグループに属するオブジェクトを明示する表示制御手段を有することを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
さらに、前記オブジェクトに付加されている付加情報から、複数のグループレベルのグループ情報を生成する生成手段を有し、
前記表示制御手段は、前記グループ情報に基づいて、前記選択手段によって選択されたオブジェクトが属するグループのうち、前記距離取得手段によって取得された操作距離に対応付けられたグループレベルを特定し、当該グループレベルのグループに属するオブジェクトを明示することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記距離取得手段は、前記選択手段が選択するオブジェクトを指示するユーザ操作を行うときの前記物体と前記表示面との間の距離と、前記選択手段によって選択されたオブジェクトが属するグループのグルーピングを指示するユーザ操作を行うときの前記物体と前記表示面との間の距離との差分に基づいて、前記操作距離を取得することを特徴とする請求項又は２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
選択手段により、表示面に表示されている複数のオブジェクトから、ユーザ操作により

指示されたオブジェクトを選択する選択工程と、
距離取得手段により、前記操作を行う物体と前記表示面との間の距離に基づく操作距離を取得する距離取得工程と、
表示制御手段により、前記選択手段によって選択されたオブジェクトが属するグループのうち、前記距離取得手段によって取得された操作距離に対応付けられたグループレベルを特定し、当該グループレベルのグループに属するオブジェクトを明示する表示制御工程を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。
【請求項５】
コンピュータに読み込ませ実行させることで、前記コンピュータを、請求項１乃至３のいずれか１項に記載の情報処理装置の各手段として機能させることを特徴とするプログラム。
【請求項６】
請求項５に記載のプログラムを格納した、コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上記課題を解決するために、本発明の情報処理装置は、表示面に表示されている複数のオブジェクトから、ユーザ操作により指示されたオブジェクトを選択する選択手段と、前記操作を行う物体と前記表示面との間の距離に基づく操作距離を取得する距離取得手段と、前記選択手段によって選択されたオブジェクトが属するグループのうち、前記距離取得手段によって取得された操作距離に対応付けられたグループレベルを特定し、当該グループレベルのグループに属するオブジェクトを明示する表示制御手段を有することを特徴とする。